



2016年 かもめ便り 7月版



七夕

・「たなばた」または「しちせき」とも読み、古くから行われている日本のお祭り行事で、一年間の重要節句のひとつにも数えられています。毎年7月7日の夜に願いごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残ります。みなさんも子どものころ、たくさんの短冊をつるしておりひめとひこぼしにお願いごとをしたのではないのでしょうか？

藤沢市新庁舎建設工事

東側から西側に向かって工事を進めています。東エリアでは、基礎のコンクリート打ち、敷地中央では、基礎の鉄筋の配筋作業、西エリアでは、土の掘削と作業構台を架設しています。



作業構台上には、資機材の揚重を行うクレーンが3台、コンクリートを圧送するポンプ車が2台、生コンクリートを運搬するミキサー車が数台配置されています。

6月10日から新館側の土木工事に着手しました。12月末までに擁壁や歩道橋の柱脚をつくります。工事期間中、車道・歩道が狭くなりますが、ご理解・ご協力をお願いします。

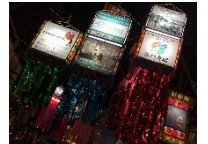


湘南ひらつか七夕まつり

7/8(金)・9(土)・10(日)

平塚の七夕まつりは、戦後商業振興策として始められたもので、今年で第66回目となります。メイン会場である「湘南スターモール」は絢爛豪華な飾りが通りを埋め尽くしています。10mを超える大型飾りや、活躍中のスポーツ選手・人気のキャラクターや動物などの流行りを取り入れた飾りも大きな特徴です。

当社も「企業手作り飾り」に参加します♪デザインから制作までを社員が手掛け、今年も掲出いたします！



見直される、昭和の道具

「となりのトトロ」や「三丁目の夕日」など、昭和を描く映画やテレビドラマの中で出てくる「蚊帳」。専用の網状の布で寝具のまわりを覆い、蚊に刺されるのを防ぐモノですが、時代とともに使ったことのある人は少なくなりましたね。その蚊帳が今、再び見直されているようです。理由のひとつに、デング熱・ジカ熱など、蚊を媒体にした病気の発生という背景があります。しかしそれだけでなく、殺虫剤や虫除けスプレーなどの薬剤を使わないので、赤ちゃんやペット・敏感肌の方にも安心なこと。蚊帳を通すことによってエアコンや扇風機の風が和らいだりと、蚊帳の中という環境が眠りの空間としての癒やしになり、心理的効果も含め蚊帳を使う人が増えているようです。WHO（世界保健機関）も、途上国のマラリア抑制対策として、蚊が媒体する感染症のリスクから子どもや妊婦を守るために蚊帳を採用しています。古きよきものは、時代や国境を超えてなお、愛されるということかもしれませんね。

